

1. 環境家計簿システムの利用手順



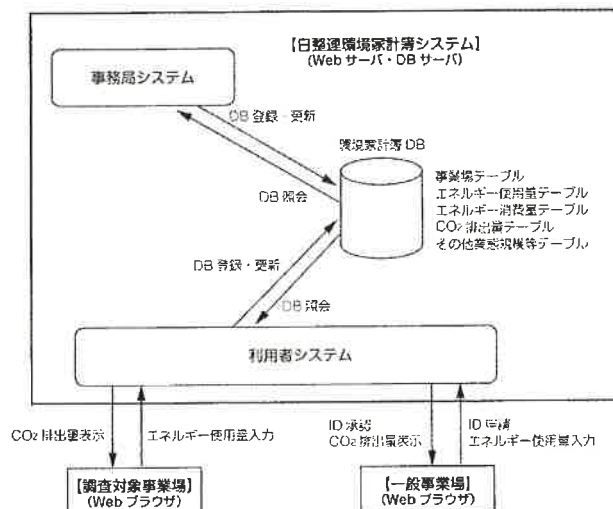
- ①日整連HPトップページから「整備事業関連情報」にカーソルを合わせて、プルダウンが出たら、「環境家計簿」をクリック。
- ②ログイン画面が出たら、「新規登録」をクリック。
- ③新規登録画面で、各項目を選択・入力して「確認」ボタンをクリック。
- ④入力確認画面を確認して、内容に誤りが無ければ「登録」ボタンをクリック。
- ⑤「登録されたメールアドレスに仮パスワードを送信しました」の画面が出たら、一旦画面を閉じて、メールを受信し、仮パスワードを確認。
- ⑥メールで送信されたパスワード(メールアドレスが「会員ID」)で、②の画面からログイン。(ログインすると「記帳画面」に入ります。
- ⑦記帳画面で、当月の使用料等を入力した後、記帳ボタンをクリック。
 - ・年間記帳画面で前月以前の入力値の修正や追加入力ができます。
 - ・グラフ画面で入力したエネルギー使用量からCO2排出量を算出し、グラフを作成することができます。
 - ・業態別、規模別、所属振興会別で他の事業場とのCO2排出量の比較や順位の確認ができます。

●入力項目

- ・電気
- ・都市ガス
- ・LPガス
- ・灯油
- ・ガソリン
- ・軽油
- ・重油
- ・在庫台数

●閲覧機能

- ・エネルギー使用量
- ・CO2排出量



整備工場におけるCO₂排出量削減への取組み

【取組みを進める手順(P⇒D⇒C⇒A)】

PDCAサイクルとは、現状を踏まえて、目標や計画(Plan)を立て、それに基づいて実行(Do)し、計画と実績との差などを評価(Check)し、ミスやトラブルなどがあれば改善(Act)し、その結果を引き続き次の計画につなげて行くプロセスのことです。

1. Plan(目標・計画)

- 手順1. 取組についての目標や計画を掲げ、職場に周知
- 手順2. 担当者を決める

2. Do(実行)

- 手順3. 取組を実施(定量的な情報とそれに基づく状況把握には、日整連の環境家計簿を活用)

3. Check(評価)

- 手順4. 記録に基づき状況を把握・評価

4. Act(改善)

- 手順5. 管理者は、必要に応じて改善を指示し、情報を共有

【Ⅰ 省エネに関連する取組み】

(1) 節電に関連する取組み

- ① 圧縮エア漏れの対策(昼休み等に聴覚による点検実施、こまめな点検実施)
- ② 室温の適切な設定・管理(夏季及び冬季の空調温度の設定、空調のための間仕切り)
- ③ 照明電力の削減(不要箇所の消灯、電光掲示板の消灯、蛍光灯の間引き)
- ④ 不要な電源OFFの実行(昼休みの消灯、節電を促すシールの貼付、電源スイッチの細分化)
- ⑤ 待機電力の削減(省エネモード/スリープモード等の活用)

(2) その他省エネ全般に関連する取組み

- ① 温水洗車機の灯油使用量の削減(適切な温度設定、夏季及び中間期の温水不使用)
- ② 省エネ機器の使用(環境車両の導入、エアコン等の代替、省エネタイプボイラーの導入、照明のLED化、店舗ガラスのフィルム加工、緑のカーテン設置、工場壁面等へ採光窓設置)

【Ⅱ 省資源に関連する取組み】

(1) 節水に関連する取組み

- ① 洗車時の節水(こまめな止水の実施・徹底、節水を促すシールの貼付、高圧洗車機の水圧調整、手元で止水できるノズルの取付、コンパクトな洗浄機器の活用)

(2) その他省資源全般に関連する取組み

- ① リサイクル部品の活用
- ② 紙の節約(裏紙専用プリンターの設置、コピー用紙の使用量管理)
- ③ 廃棄物等の処理(古紙回収、ごみの分別、廃棄物排出量把握による削減取組み)

【Ⅲ その他に関連する取組み】

- ① 勤務・営業時間、作業スケジュール等に関連する取組み(定休日の導入、ノー残業デーの導入、夜間作業の削減)
- ② 仕組みや体制づくりに関連する取組み(「環境に優しい整備事業場等」の受賞、エコアクション21の認証取得、ISO14001の認証取得)
- ③ エコ整備に関連する取組み(1年点検の促進、エコオイルの推奨、燃焼系、オイル系統のフラッシング、ロングライフエンジンオイル、チッソガス充填等)
- ④ 社会貢献等に関する取組み(森林プロジェクト/森づくり等への参加、地域の清掃活動)